

## 平成26年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）（変更後）

(単位:千円)

地方公共団体名	宜野湾市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		31,200,000	2,393,541	2,443,541	-50,000	2,393,541

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期 年 月	事業終期 年 月	総事業費					振興計画 該当箇所 章・節・項・目	備考		
							A	B	C	交付対象事業費				G	
										交付金交付額					
										負担額					
			沖縄県 D	市町村 E	その他 F										
<b>合 計</b>							3,056,288	3,038,828	2,393,541	0	645,287	0	17,460		
1	ねたての都市(まち)PR事業	観光地としての機能向上を図り観光誘客を推進するため、プロ野球キャンプ地である市立野球場やコンベンションセンターを中心に環境整備や防災対策、イベントの開催等を行う。	イ	10	24 6	34 3	91,769	91,769	72,283	0	19,486	0	0	3 3 (2)	
①	道路景観整備事業	プロ野球キャンプを活用した観光振興を図るため、横浜DeNAベイスターズがキャンプを行う市立野球場及び海浜公園から国道58号線までの市道及び、沖縄コンベンションセンターから国道58号までの市道を整備する。	イ	10	24 7	34 3	25,000	25,000	19,000		6,000		0	3 3 (2) ウ	7月変更(交付金額の変更)
②	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭りカチャーシー大会」を支援する。	イ	10	24 6	34 3	17,053	17,053	13,642		3,411		0	3 3 (2) ア	
③	企画展開催事業	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	イ	10	24 6	34 3	5,233	5,233	4,057		1,176		0	3 3 (2) ア	
④	宜野湾市産業まつり	市の特産品のPR及び産業振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	イ	10	24 6	34 3	4,000	4,000	3,200		800		0	3 3 (2) オ	
⑤	文化財説明板・標識設置事業	観光振興及び文化教育に資するため、市登録・指定文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	イ	10	24 6	34 3	2,219	2,219	1,775		444		0	3 3 (2) ウ	
⑥	ぎのわん車いすマラソン大会補助事業	本市の海浜公園及びその周辺で毎年12月に開催されるぎのわん車いすマラソン大会(宜野湾市社会福祉協議会が事務局)に対して、事業運営の補助を行う。本市も実行委員会として事業運営に関わっている。ぎのわん車いすマラソン大会は、これまで25回開催されており、県内唯一の車いすマラソン大会として、毎年県内だけでなく、県外からも多くの選手が参加している。本大会の出場者には、パラリンピックに出場される選手もあり、全国的な大会としても認知されてきている。障がい者スポーツの振興という面だけでなく、県外からの選手・家族も大勢来県されることから、観光振興の面でも効果が期待できる事業である。	イ	9	25 7	34 3	5,471	5,471	4,376		1,095		0	3 3 (2) ア	
⑧	琉球海炎祭支援事業	日本で一番早い夏の大花火をキャッチプレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の癒合によるオリジナリティーに溢れた沖縄最大の大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	イ	9	25 4	34 3	2,000	2,000	1,600		400		0	3 3 (2) ア	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。  
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。  
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考							
					開始期	終了期	交付対象事業費			交付対象外経費										
					年	月	年	月	A		B			C	負担額					
					年	月	年	月							D	E	F	G		
⑨	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信し、観光・経済に大きな効果が期待できる。	イ	9	25	5	34	3	1,323	1,323	1,058		265		0	3	3	(2)	7	
⑩	宜野湾市西海岸地域開発検討調査事業	観光・リゾート産業の振興及びコンベンション支援機能充実等のため、H25年度事業にて策定を行った基本構想について、更に詳細な調査を行い、西海岸地域における開発基本計画の策定を行う。	イ	9	25	4	34	3	10,260	10,260	8,208			2,052		0	3	3	(2)	7
⑪	エンタテインメント産業支援事業	エンタテインメントを沖縄の成長産業として育成していく試金石として、次世代を担う若年層が世界のエンタテインメントの最前線から直接学ぶ機会を提供するとともに、宜野湾市の新たなイメージを創出するオープンスクールイベント開催を支援する。	イ	3	26	4	29	3	10,000	10,000	8,000			2,000			3	3	(2)	7
⑫	トロピカルビーチ賑わい創出事業	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を実施することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	イ	3	26	4	29	3	4,486	4,486	3,588			898			3	3	(2)	7
⑬	博物館機能強化事業	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の案内板充実など機能強化を実施する。	イ	8	26	4	34	3	4,724	4,724	3,779			945		0	3	3	(2)	7
2	地域社会とともに学ぶ・育む人材育成事業	心身ともに健全な児童生徒を育成するため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、巡回指導員、学習支援員等を配置する。また、不登校児童の適応を促進するため各種事業を実施する。	チ	10	24	7	34	3	85,423	77,196	44,623	0	32,573	0	8,227	3	5	(3)		
①	スクールカウンセラー活用事業	スクールカウンセラーを市内4小学校に定期的に派遣し、学級担任、児童生徒、保護者との相談（不登校・いじめ・非行・発達に関する問題等）を行い、教育相談の充実を図る。	チ	10	24	7	34	3	2,640	2,640	2,112			528		0	3	5	(3)	イ
②	スクールソーシャルワーカー活用事業	近年の子供たちを取り巻く社会環境が著しく変化するなかで、遊び非行型及び心因性による不登校児童生徒の増加が懸念されている。このようなことから、スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校児童生徒の学校復帰に繋げる支援に取り組む。	チ	10	24	7	34	3	19,863	19,863	5,481			14,382		0	3	5	(3)	イ
③	適応指導教室事業	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	チ	10	24	7	34	3	3,810	3,810	3,022			788		0	3	5	(3)	イ
④	児童生徒相談事業	市内の幼児、児童生徒（18歳未満）及び保護者、教職員の悩みや教育上の問題について、教育相談指導員、臨床心理士を配置し、問題解決を図るために相談業務の充実を図る。	チ	10	24	7	34	3	10,481	10,481	8,384			2,097		0	3	5	(3)	イ
⑤	非行防止等巡回活動事業	児童・生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して少年少女の問題行動に対して必要な注意・助言・指導を行うため、夜間街頭指導員を配置する。	チ	10	24	7	34	3	1,953	1,953	1,500			453		0	3	5	(3)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。  
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。  
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所	備考						
					始期	終期	A	B	C	負担額										
					年	月				年	月				D	E	F			
					G															
⑥	学習支援員活用事業	学習に遅れをとっている児童・生徒が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置する。	チ	10	24	7	34	3	21,892	21,892	17,000		4,892		0	3	5	(3)	7	7月変更(事業概要変更、事業費変更)
⑦	派遣費補助金交付事業	児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。	チ	10	24	9	34	3	21,624	13,397	5,717				8,227	3	5	(4)	イ	
⑧	スポーツ少年団派遣費補助事業	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成を図るため、一定の基準を満たすスポーツ少年団等の県外派遣を補助する。	ソ	9	25	6	34	3	3,160	3,160	1,407				0	3	5	(4)	イ	7月変更(事業概要変更)
3	文化財等保護・活用推進事業	沖縄独自の歴史が育んできた文化の保全を図るため、文化財の保存整備及び公文書の整理活用を行う。	リ	10	24	6	34	3	7,766	7,766	6,000	0	1,766	0	0	3	1	(4)		
①	文化財保存整備事業	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるように、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。平成26年度は、市指定史跡「野嵩クヌカー」の整備をめざし基本設計委託業務と、「本部御殿墓」の測量業務を実施する。	リ	10	24	6	34	3	3,838	3,838	3,000				0	3	1	(4)	7	
②	歴史公文書等整理・活用事業	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的とする。業務は、公文書等の整理を直営または委託し、保存、公開の基準づくりや利用に供するための検索システム作成などを行う。	リ	10	24	7	34	3	3,928	3,928	3,000				0	3	1	(4)	7	
4	地域で安心子育て支援事業	働きながらも安心して地域で子どもを産み、ゆとりを持って育てることができるよう、保育サービスの充実や児童館の利用促進、家庭相談などの支援を行う。	ヌ	10	24	7	34	3	15,310	6,077	4,861	0	1,216	0	9,233	3	2	(2)		
①	預かり保育事業	地域の実態及び保護者の要請に応じて、公立幼稚園において、通常の保育時間の終了後や長期休業期間中等に預かり保育を実施する。	ヌ	10	24	7	34	3	15,310	6,077	4,861				9,233	3	2	(2)	イ	
5	はごろも人材育成事業	沖縄振興及び宜野湾市の振興に資する市民の育成を図るため、友好都市を提携している中国福建省廈門市への留学生派遣及び平和学習への児童派遣に取り組むとともに、英語活動指導員及びITサポート支援員を各学校に配置する。	ハ	10	24	6	34	3	66,353	66,353	52,797	0	13,556	0	0	3	5	(4)		
①	中国廈門理工学院留学生派遣事業	中国に対する理解を深め、国際的視野を持った人材育成を図るため、友好合作都市である中国福建省廈門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣する。	ハ	10	24	7	34	3	956	956	764				0	3	5	(4)	7	
②	平和市民啓発事業	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣する。	ハ	10	24	6	34	3	1,030	1,030	824				0	3	5	(4)	7	7月変更(事業概要変更)
③	小学校英語教育課程特例校事業	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手、日本人の英語教師を小学校に派遣する。	ハ	10	24	7	34	3	48,801	48,801	39,040				0	3	5	(4)	7	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。  
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。  
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考							
					事業始期	事業終期	A	交付対象事業費			G			章・節・項・目						
								B	C	負担額										
										D					E	F				
年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月									
④	外国人教師招致事業	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要となる外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。	イ	10	24	7	34	3	10,212	10,212	8,169		2,043		0	3	5	(4)	7	
⑤	学校ICT活用指導支援事業	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ITサポート支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を実施する。	イ	10	24	7	34	3	5,354	5,354	4,000				0	3	5	(4)	7	
6	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	本市の面積の約3割を占める広大な米軍基地は、住みよいまちづくりをする上で最大の阻害要因となってきた。土地を住民から強制接収した経緯から土地の約9割以上が民有地となっており、公共用地が極端に少ない状況であり、駐留軍用地の返還後の跡地利用推進を図るため、基地返還跡地転用推進基金を設置し、早急に公共用地を確保する。	ロ	10	24	12	34	3	2,634,972	2,634,972	2,107,977					3	3	(13)	7	12月変更(事業費変更)
7	大規模駐留軍用地跡地等利用推進事業	平成8年の「沖縄に関する特別行動員会(SAC O)」によって返還合意された普天間飛行場及びキャンプ瑞慶覧(宜野湾市部分)の跡地利用を円滑に進めるため、関係地権者や市民とともに今後のまちづくりについて検討を行う。また、基地内外の自然的特性や文化財について調査し市民等に情報提供する。	ロ	10	24	6	34	3	117,139	117,139	77,000				0	3	3	(13)	7	
①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBMミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を助成し、合意形成についての取り組みを行う。	ロ	10	24	6	34	3	19,551	19,551	13,000				0	3	3	(13)	7	
②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同事業)	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	ロ	10	24	6	34	3	23,240	23,240	17,000				0	3	3	(13)	7	
③	キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業	キャンプ瑞慶覧のうち、返還が合意されている宜野湾市部分について、返還後の跡地利用計画を円滑に促進するために跡地利用計画の策定及び地権者の合意形成活動を行い、地権者全体でまちづくりを推進する体制を実現することを目的に、地権者の跡地利用に対する意識高揚を図る。	ロ	10	24	7	34	3	42,956	42,956	25,000				0	3	3	(13)	7	
④	埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業	埋蔵文化財調査の情報と進捗する試掘・確認調査の関連情報が、地権者等に広く提供・公開できる「仕組み」を整備する。併せて平成25年度に作成した普天間飛行場の「重要遺跡保存整備基本構想(素案)」を基に、『遺跡(埋蔵文化財)以外の文化財』と「基地外の文化財」も統一的に見据えた「重要文化財保存整備基本構想(案)」を作成する。	ロ	10	24	7	34	3	18,258	18,258	12,000				0	3	3	(13)	7	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。  
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。  
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費					振興計画該当箇所 章・節・項・目	備考						
					事業 初期	事業 末期	交付対象事業費			交付対象外 経費									
							A	B	C		負担額								
											D			E	F	G			
年	月	年	月	沖縄県	市町村	その他													
⑤	キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査事業	平成26年度返還が予定されている西普天間住宅地区（キャンプ瑞慶覧）の跡地利用の促進及び円滑化等に向けて、基地内調査成果等に基づき当該地区の重要文化財保存整備実施計画を策定する。	ソ	10	24	7	34	3	13,134	13,134	10,000		3,134		0	3	3	(13)	7
8	市民会館機能強化事業	宜野湾市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術の鑑賞の場として活用されているが、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつくまでの間、より利用しやすい施設として機能向上を図る。平成26年度はエレベーター設備設計業務と工事を実施する。	ソ	6	24	6	30	3	35,945	35,945	27,000		8,945		0	3	1	(4)	ウ
9	中央公民館機能強化事業	宜野湾市中央公民館は社会教育施設の拠点として、講座、教室、講演会等の場に活用されているが、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつくまでの間、現在の研修室等を改修し、より利用しやすい施設として機能向上を図る。平成26年度は舞台照明設備改修設計業務を実施する。	ソ	4	24	6	28	3	1,611	1,611	1,000		611		0	3	5	(2)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。  
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。  
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

## 平成26年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）（変更後）

(単位:千円)

地方公共団体名	石垣市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		31,200,000	976,145	976,145		976,145

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期 年 月	事業終期 年 月	総事業費 A	交付対象事業費 B	交付金交付額 C	負担額			交付対象外経費 G	振興計画 該当箇所 章・節・項・目	備考
										交付金交付額					
										沖縄県 D	市町村 E	その他 F			
										合 計					
1	観光振興「いしがき」プロジェクト	新空港開港を契機にさらなる観光振興を図るため、国内外において観光誘客のプロモーションや各種広告を活用したPR等の実施、市民及び観光客を対象としたイベントの開催、プロアマチュア等のキャンプ受入基盤強化等を実施する。また、新たな観光振興につなげるため、星空の魅力を活かしたイベントの開催、島の歴史写真をデジタル化し発信するとともに、博物館資料を活用し沖縄の歴史を紹介する。	イ	10	24 7	34 3	236,328	236,328	178,916			57,412		3 3 (2)	
①	観光誘客プロモーション事業	県外の主要都市及び沖縄県内において地元観光関係団体と連携した観光誘客プロモーションを展開し、新規観光客の獲得につなげる。	イ	10	24 6	34 3	5,492	5,492	4,393			1,099		3 3 (2) イ	
②	スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業	スポーツツーリズムを促進し離島振興につなげるため、国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等を誘致するための営業活動を実施する。	イ	10	24 8	34 3	4,189	4,189	3,351			838		3 2 (1) イ	
③	石垣島観光物産PR事業	新空港開港後において、需要の安定化とリピーター層の拡大を図るため、満足度及び地元消費額の向上そして通年型の観光魅力を創出する各種取り組みを行う。国内個人客、海外からのインバウンド客向けの新たな観光コンテンツの創出を図る。	イ	10	24 6	34 3	77,840	77,840	54,272			23,568		3 3 (2) オ	10月変更 (事業費変更) 12月変更 (事業概要、 事業費変更)
④	八重山博物館所蔵資料修復及び整理活用事業	八重山博物館所蔵する資料のうち、劣化の著しい古文書等の資料を修復し修復済資料等を保管するための、資料収納箱等を製作する。	イ	10	24 7	34 3	14,860	14,860	11,888			2,972		3 1 (4) 7	
⑤	石垣島シネマフェスティバル事業	八重山諸島で撮影された映画作品を集め上映する事により、映画、ドラマのロケ地としての島の魅力を広く国内外に発信する。	イ	10	24 7	34 3	16,866	16,866	13,492			3,374		3 3 (12) 7	
⑥	プロ野球キャンプ受入基盤強化事業	来場者や選手等の安全性と快適性を図るため、キャンプ中における見学者の誘導及び飛球対策に係る警備員の配置を行う。また総合案内所を設置し、来場者等へキャンプ開催とタイアップした取り組みを行って地域活性化につなげる。	イ	7	24 12	31 3	8,399	8,399	6,719			1,680		3 2 (1) イ	

- 注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。  
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。  
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。